

実験アイデア具体化検討シート(子育て)

お名前： _____

共創の実験に向けてアイデアを具体化させよう

子どもの未来に向けた取組を加速させるために「大切なポイント」とは何かを、みなさんとともに探してきました。そうして見えてきたいくつかの仮説をもとに、実験的に“まずは、できることからやってみる”ことで、小田原の“子育て”を充実させるための学びやモデルを見つけていきたいと考えています。

自分でもできそうなこと、参加者同士でやってみたいこと、あるいはみんなで関わり合いながら実現したいことなど、様々なアイデアの中から実験を具体的に考えていきましょう。

そこで、レポートをご覧いただいたり、ワークショップでの体験を思い返していただきながら、下記の質問にお答えいただけますでしょうか。(改行やページの追加は自由です。)

Q1 : 取り組んでみたい実験のアイデアについて

- あなたが実際に取り組んでみたいアイデアにはどのようなものがあるでしょうか？
自分たちが中心となってぜひやってみたい、これなら取り組めそう、こんなことをやってみたい、これを具体化していきたい、といったアイデアや取組のイメージをできる範囲でお書きください(いくつでも結構です)
 - 可能であれば、たとえば「〇〇の場が使える」「 月 日の催しで、こんなことができるかも」というように具体的なイメージもお書きいただくと、検討を前に進ませやすくなるかと思います

Q2 : 実験をすること意味について

- これまでの議論や仮説をふりかえって、子どもの未来のために特に大切だと思うポイントや、小田原の“子育て”を充実させるために実現したいことはなんですか？
あるいは、“子育て”の課題解決に向けて、どんなことに取り組んでいきたいですか？

Q3 : 結果として得たい学びについて

- 実際に取組をやってみることを通じて、どんな学びや発見があるとよいでしょうか？
あるいは、結果としてご自身や今ある活動にどのように活かしていきたいですか？
(直感的に思いつくところを、できる範囲でお書きください。)

Q4：実現するための工夫や成功のためのポイント

- その取組を実際に行っていく上で、どんな工夫ができそうでしょうか？
また、成功要因や押さえどころ、クリアすべき課題などにはどんなことが考えられるでしょうか？ こちらも思いつく範囲でお書きください。

Q5：必要な支援のアイデアについて

- その取組を推進していく上で「周りからこんな支援を受けられるといい」といったものはありますか？より取組を進めやすくなるためのアイデアがあればお書きください。
 - こんな団体を紹介してほしい、こんな場があるといいといった、小さなサポートでも結構です

Q6：自分たちが支援できることについて

- アイデアの中には、自分が主となって関わることは難しくても、何かしら協力ができることや、役に立ちそうなちょっとした手伝い、こういう部分だったらサポートできるといったことがあるかもしれません。もしあれば、具体的にこんな支援ができそう、こんなつながりを生み出せそうといったことを、できる範囲でいくつでもお書きください。

回答期日：平成28年3月8日（火）まで

回答方法：事務局担当者宛に、メール・FAX・郵送にて（手書きでも可）

Eメール：keisuke-hara@city.odawara.kanagawa.jp

FAX：0465-33-1286

郵送先：〒250-8555

小田原市荻窪300番地 小田原市役所企画政策課 原 宛

問い合わせ：0465-33-1253（事務局：小田原市役所企画政策課）